

みわ道通信 5号

令和 3年 2月 8日
三輪小学校学校運営協議会
広報担当

第5回の学校運営協議会の開催

1月27日（水）に、本年度最後の第5回三輪小学校学校運営協議会が行われました。今回は本年度最後ということで、1年間の取り組みのまとめと次年度の取り組みについての話し合いになりました。具体的には以下の2つの項目について、学校から説明を受けて、協議を行いました。

- (1) 学校評価（最終）及び次年度の改善策について
- (2) 令和3年度の学校経営構想及び今後の予定に関して

まず、(1) 学校評価（最終）及び次年度の改善策についてです。東野校長先生から、学校評価シートをもとに、三輪小学校の①確かな学力の育成②豊かな心の育成③健やかな体の育成④特別支援教育の推進⑤信頼される学校づくり⑥学校管理運営体制の充実の6項目についてのそれぞれの目標達成状況について説明がありました。詳細に報告することは紙面の都合上できませんが、それぞれの項目ではほぼA評価で十分目標を達成できていました。

特に、①確かな学力の育成では、ひとり一人に確かな学力をつけるために、小中連携して学び方のモデルとして「三輪スタンダード」を定着されました。②豊かな心の育成では、担任＋担任外職員がチームを組んで、教育相談週間の充実を図られました。③健やかな体の育成では、栄養教諭の専門性を生かした家庭科学習に取り組まれました。④特別支援教育の推進では、就学前の教育相談を積極的に実施し、保護者の不安を解消する取り組みが行われました。⑤信頼される学校づくりでは、学校の課題に応じた研修を実施して、職員の能力向上に取り組まれました。⑥学校管理運営体制の充実では、職員が健康で子どもに向き合うために超過勤務の削減に取り組まれました。

このような取り組みが実施できたのは、東野校長先生を中心に教職員の方々が、具体的な方策を立てて目標が達成できるように教職員みんなが同じ方向を向いて取り組まれてきた結果だと思います。特に、本年度はコロナ禍において、臨時休業のための授業時数の確保、行事等の精選などだけでなく、児童の安心安全（特にコロナ感染防止等）にも苦慮されながらのこの1年間の取り組みは、本当にご苦労されたことだと思います。

次に、(2) 令和3年度の学校経営構想及び今後の予定に関してです。東野校長先生より、資料をもとに令和3年度の学校経営構想の説明がありました。学校教育目標『豊かな未来を創り出す子どもの育成』を目指して、具体的構想～社会に開かれた教育課程の推進～を立てて、教育課程の推進、組織運営の充実、教職員研修の推進に取り組んでいけます。

その中で、特に教育課程の推進では、「三輪スタンダード」を基にした確かな学力の育成。組織運営の充実では、学校運営協議会も関わって取り組む親子での規範教育の推進。教職員研修の推進では、研修を通した若年教員の指導力向上。に取り組んでいけます。

次年度も、学校運営協議会での協議を通して、校長先生の学校経営に関わり、教育目標の達成ができるように時には意見を述べたり、支援を行ったりしていきたいと思っています。

最後に一言

東野校長先生は本年度末でご退職されます。三輪小学校長として3年間、保護者も地域住民も誇れる三輪小学校に創り上げて頂いたことに感謝申し上げます。本当にありがとうございました。